

令和5年度第50回沼津市芸術祭 美術展審査結果報告

◇ 作品点数

	洋画	日本画	水彩・版画	合計
一般公募作品	47	11	21	79
無鑑査作品	8	3	5	16
招待作品	5	3	4	12
合計	60	17	30	107

◇ 審査日 令和5年10月10日(火)

◇ 審査員

- 洋画 御守 一光(洋画家)・秋山 正美(洋画家)
- 日本画 倉田 文昭(日本画家)
- 水彩・版画 御守 一光・落合 清太郎(版画家)

受賞点数

「芸術祭賞」3部門の中から1点

「市長賞」、「市議会議長賞」、「教育長賞」、「静岡新聞社・静岡放送賞」各部門1点ずつ

水彩・版画部門のみ「山口源の会賞」1点(版画)

「優秀賞」、「奨励賞」点数

洋画(優秀賞5点、奨励賞9点)、日本画部門(優秀賞1点、奨励賞1点)、水彩・版画部門(優秀賞2点、奨励賞4点)

「市制100周年記念賞」点数

洋画部門2点(油彩・アクリルから1点ずつ)、日本画及び水彩・版画部門から1点ずつ

◇ 受賞作品・作者名

● 洋画部門

賞	題名	氏名	住所
芸術祭賞	此方と彼方	瓜島 ありさ	三島市谷田
市長賞	荒野の狼	山内 和夫	裾野市千福が丘
市議会議長賞	静寂	八木 はる代	駿東郡清水町中徳倉
教育長賞	滔々とした流れ	高橋 六郎	御殿場市神山
静岡新聞社・静岡放送賞	賞味期限	高橋 恵子	伊豆市市山
優秀賞	孫(自宅にて)	石井 文男	沼津市大諏訪
優秀賞	積みわら	大林 初枝	沼津市東原
優秀賞	青りんごと白い花瓶	尾沢 昌己	沼津市大岡
優秀賞	真夏の大輪	外川 雄章	駿東郡長泉町下土狩
優秀賞	一心	松本 民子	沼津市豊町
奨励賞	カップルの心は	青木 佳穂	沼津市大岡
奨励賞	セーリング	秋山 輝雄	裾野市深良
奨励賞	ハス池	伊東 好子	沼津市平沼
奨励賞	これ、なあんだ	岩崎 道子	沼津市新沢田町
奨励賞	清流	小林 春	伊豆の国市奈古谷
奨励賞	赤朽葉の刻	橋本 壽子	沼津市東椎路
奨励賞	江の島の岩礁から	長谷川 浩司	沼津市東椎路
奨励賞	一縷の望み	矢野 玲子	沼津市大手町
奨励賞	木漏れ日の中で(千本松原)	若林 桃子	沼津市大岡
市制100周年記念賞	ソレア(孤独)	青木 真子	三島市西若町
市制100周年記念賞	夜の沼津内浦湾風景	青木 儀治	沼津市本郷町

● 日本画部門

賞	題名	氏名	住所
市長賞	おくらの花	上田 くに枝	沼津市寿町
市議会議長賞	池のはす	遠藤 よしの	沼津市大手町
教育長賞	おどろき	堀谷 弓子	駿東郡長泉町元長窪
静岡新聞社・静岡放送賞	里山の秋	板倉 姫揚子	駿東郡清水町徳倉
優秀賞	やったー	名倉 益枝	駿東郡清水町徳倉
奨励賞	郷里に薫る	古屋 恵	田方郡函南町間宮
市制100周年記念賞	祭りだ	井上 美津子	三島市谷田

● 水彩・版画部門

賞	題名	氏名	住所
市長賞	柿田川の清流	遠藤 あけみ	沼津市若葉町
市議会議長賞	ワンダーランド	杉山 雅彦	三島市芙蓉台
教育長賞	夕焼けの狩野川	金井 宏道	沼津市住吉町
静岡新聞社・静岡放送賞	樹齢2000年神代桜	高島 邦明	沼津市大諏訪
山口源の会賞	我入道の渡し	鈴木 智子	沼津市我入道津島町
優秀賞	七変化	金子 幸	沼津市新沢田町
優秀賞	駒ヶ岳を望む大沼公園で	田島 豊久	駿東郡清水町八幡
奨励賞	エンジェルストランペットと歌う仲間達	柏木 美智子	沼津市下香貫下障子
奨励賞	イカ釣漁船出航	島倉 俊夫	沼津市高尾台
奨励賞	おかげさま	杉山 清治	沼津市我入道江川
奨励賞	箱根路の紫陽花	高山 節子	三島市中島
市制100周年記念賞	投げ一闪	永井 健夫	駿東郡清水町畑中

◇ 審査短評

● 洋画部門

審査総評	<p>芸術祭賞「此方と彼方」 抽象画ではあるが新しい技法と、奥深い表現で素晴らしく、大変良い作品と印象を受けました。</p> <p>市長賞「荒野の狼」 人物と夕焼けとのコントラストが良く、力作であると評価します。</p>
------	--

● 日本画部門

審査総評	<p>今回は出品点数が少なめでありました。しかし、秀作が多く、選考は大変でありました。</p> <p>市長賞「おくらの花」 しっとりとした情感が感じられる良い作品でありました。</p> <p>市議会議長賞「池のはす」 静かで穏やかな時を感じ、日本画らしさがありました。</p> <p>教育長賞「おどろき」 いろいろな魚の躍動感があり、水の中での生命の力強さが感じられる意欲的な作品です。</p>
------	---

● 水彩・版画部門

審査総評	<p>今年の作品は個性豊かな作品が多く、それぞれ苦心した力作となっています。</p> <p>市長賞「柿田川の清流」 郷土の風景を象徴して心よい作品と評価します。</p> <p>教育長賞「夕焼けの狩野川」 背景にはびゅうおがあり、狩野川を象徴して心が和む作品であると評価します。</p>
------	--